

平成 29 年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第 4 回）議事要旨

1 日 時 平成 29 年 7 月 27 日（木） 15：00～17：10

2 場 所 新見市役所南庁舎 3 階 会議室 3 C

3 出席者

(1) 評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員

(2) 事務局 林次長、岡本主査

4 議 事

(1) 平成 28 年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

財務諸表及び全体評価について、各委員が評価した内容を発表し、委員会としての意見をまとめた。

また、前回の評価委員会で審議した実績報告書の内容について、事務局が報告書としてまとめた内容の確認を行った。

今回の審議結果に基づき、次回評価委員会（8月2日（水）午後3時から）で、事務局が取りまとめた報告書の内容を確認することとなった。

詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p>	<p>【大項目評定】 3</p> <p>(項目別評価評定)</p> <p>○次のとおり修正する</p> <p>(大学院看護学研究科)</p> <p>社会人の院生にも配慮した教育計画を実施し、修士論文作成に向けた研究活動の成果を講義等において効率的に活用できている。</p> <p>また、大学院教授会は、昨年を上回る8回開催し、教育内容の資質向上を図ったことが評価できる。</p> <p>(助産学専攻科)</p> <p>助産師国家試験合格率が約30%であったことについては、内容を分析して、来年は、100%合格を目指すことを期待する。</p> <p>(幼児教育学科)</p> <p>にいみ子育てカレッジは、地域の実情に合わせて内容の充実を図りながら取り組んでいることが評価できる。</p>

	<p>また、「にいみゆめのぼけっと」については、子どもとの関わりを深め、学生の資質を高める機会となったことを評価し、今後の活動に期待する。</p>
<p>2) 教育の実施体制</p>	<p>○次のとおり追加する</p> <p>新見たまがき賞を評価し、アクティブラーニングに関するFD集会を実施し、授業内容・方法の改善につながることを期待する。</p>
<p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目評定】 4</p> <p>○次のとおり追加する</p> <p>鳴滝塾を毎月開催する取り組みは、評価できる。</p>
<p>III. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>IV. 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>V. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>VI. その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>VII. 予算、収支計画及び資金計画</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>VIII. 短期借入金の限度額</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>IX. 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 ～該当なし～</p>	<p>※該当なし</p>
<p>X. 前号に規定する財産以外の重要な財産</p>	<p>※該当なし</p>

<p>を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</p>	
<p>XI. 剰余金の使途</p>	<p>【大項目評定】 3</p>
<p>XII. 新見市地方独立行政法人法施行規則で定める事項 ～該当なし～</p>	<p>※該当なし</p>
<p>剰余金の総額を大学において使えるよう市長に答申してよい</p>	<p>○承認する</p>

(2) 次回開催日について

- ・平成29年8月2日(水)15時からとした。

以上